

オルガテック東京

コクヨ、ライオン事務器出展

ケルンメッセと一般社団法人日本オフィス家具協会(JOIFA)は、6月3〜6日、東京ビッグサイト南展示棟1〜4ホールで、オフィス・ワークプレイス分野に特化した国際展示会「オルガテック東京2025」を開催する。

第4回目となる今回は、国内外から約150社が出展、来場者数は4万人を見込む。開催当初から掲げている「SHIFIT DESIGING」をコンセプトに、未来のワークプレイスにおけるイノベーションと新たな働き方を多彩な切り口で提案。

業界からはコクヨ、ライオン事務器、プラス、馬印などが出展する。

このうち、コクヨは「座」という行為に真正面から向き合い開発を進めてきた、新型オフィスチェア「ingCloud(インクラウド)」を先行発表する。同製品は、「ErgoFit」そして、身体の一部になる「コンセプト」に、新開発の「3Dウルトラ

オートフィット機構」を搭載した、ワーカーの快適性と集中力のさらなる向上を目指す次世代のオフィスチェア。

展示ブースでは、チェアの使用時に感じられる浮遊感や包まれ感を表現。個人環境の快適性が高まり、自身のワークスタイルがより豊かになることを実感させる、これまでにない革新的なチェアを体験できる。

そのほか、南ホール&2内の特別展示エリアでは、多様なユーザーとの共感・共創のデザインプロセス「HOWS DESIGNING(ハウズデザイン)」を経て開発した「Hemming(ヘミング)」や、現在開発中の商品展示。障がいのある有性別、国籍などの様々なボーダーや、作手と使い手のボーダーをなくすことを目指した、コクヨのものづくりの過程を見ることが出来る。

また、6月4日に南3&4ホール内のエクスペリエンスエリアで開催されるセ

ミナリでは、「初公開」コクヨ100個の挑戦物語と失敗を恐れない実験カルチャーが革新的クリエイティブを生み出すまで」をテーマに登壇。創業以来、日本のワークスタイルを革新し続けてきた背景には、「失敗を先にする」というコクヨ独自の「実験カルチャー」がある。

セミナーでは、若手ベテランの開発者が登壇し、家具だけでなく、空間やサービス、文房具まで、コクヨのクリエイティブな100個の取り組みの誕生秘話を初公開する。

可を得て描かれるストーリーアートの一種。

今回のプロジェクトでは、国内外の6人のアーティストがコザ銀天街を舞台に、ミューラルを制作。完成披露イベントである「ミューラルフェス」は、「沖繩の未来をアートで包み込む」をテーマに掲げ、地元

橋正剛社長(名古屋)は、知的財産権制度の発展・普及・啓発に貢献した個人および知的財産権制度を積極的に活用した企業等を表彰する令和7年度「知財功労官表彰(意匠)」を受賞した。

でも、文具博のような文具イベントを開催するのは、今回が初めてで19社が出店、文具好きにはたまらない人気の文具メーカーの商品や、福井・北陸ではあまりお目にかかれない作家のアイテムを取り揃え、質感や色・サイズなどを実際に手に取ってアイテムを見ることができたと好評を博した。

沖縄・コザ銀天街で

表現革新振興財団

ミューラルワークショップ



ワークショップの会場

ワークショップの会場は、巨大な壁面アートを彩る「ミューラルワークショップ」を実施した。

ミューラル(MURAL)とは日本語で「壁画」という意味で、壁や床の利用許可

三菱鉛筆株式会社(数原滋彦社長、東京都)が設立した一般財団法人表現革新振興財団(数原滋彦代表理事、東京都)は、4月5日に沖縄市のコザ銀天街を舞台に、WALL SHARING株式会社(川添孝信社長、大阪市)が開催したミューラルフェス「WRAP UP OKINAWA 2025」に協賛し、6名の巨大な壁面アートを彩る「ミューラルワークショップ」を実施した。

ワークショップでは、アーティストの協力の下、子供から大人まで、非日常でワクワクする表現体験を通じて、「書く・描く」表現の楽しさを体験した。

株式会社ホリタ(堀田敏史社長、福井市)は、5月2〜6日までの5日間、ホリタ文具倉庫で福井県初となる文具博「文具HORIBO」を開催した。

昨年4月に同店で実施したアンケートでは、約400人から回答を得たが、半数近くの人から文具を使ったワークショップや文具博のようなイベントに興味があるという声があり、また、福井県は地方という土地柄、文具博といった大きな文具イベントが未開催の地域で、都市部で開催されている大きなイベントへ行くには時間や費用のハードルが高く、アンケートでもホリタ文具でイベントの開催を望む声も多く寄せられていた。

福井県初となる文具博「文具HORIBO」は、5月2〜6日までの5日間、ホリタ文具倉庫で福井県初となる文具博「文具HORIBO」を開催した。

昨年4月に同店で実施したアンケートでは、約400人から回答を得たが、半数近くの人から文具を使ったワークショップや文具博のようなイベントに興味があるという声があり、また、福井県は地方という土地柄、文具博といった大きな文具イベントが未開催の地域で、都市部で開催されている大きなイベントへ行くには時間や費用のハードルが高く、アンケートでもホリタ文具でイベントの開催を望む声も多く寄せられていた。

9月に浙江省輸出商品交易会2025大阪国際ライオンスタイルショー/浙江省輸出商品(大阪) 交易会は、9月10日〜12日まで、大阪南港のインテックス大阪2・3号館で開催する。

中国・浙江省をはじめ、台湾とアジアの国・地域のものづくり企業と出会う展示商談会、ファッション雑貨、ファッション、スポーツ&アウトドア、ベッ

トグッズなど、多彩な商品が一堂に会する。

商品発注やOEM・ODM商談、新規取引先の開拓などに最適。

来場事前登録は5月中旬に開始を予定している。出展規模は300社、360小間を予定している。

黄綬褒章に輝く

フジックス社長

白石元宏氏が栄誉

政府は4月28日付けで春の褒章受章者607人と22団体を発表し、29日に発令した。

このうち業界からは白石元宏氏(フジックス株式会社社長、全日本紙製品工業組合常任理事、大阪紙製品工業会常任理事)が黄綬褒章を受章した。

白石氏の略歴は次の通り。

昭和34年12月19日生まれ。65歳。

白石氏の祖父・忠明氏は大正元年に「白石忠明商店」を創業し、封筒・紙袋の製造を手がけた。戦後、父・哲郎氏が「白石哲商店」として独立し、「紙の商売は

生進取」を理念に掲げた。ISO9002(平成14年)やISO14001(平成18年)を取得し、営業拠点・本社機能の整備などを進めた。

業界では全日本紙製品工業組合の常任理事として封筒規格統一や環境問題に尽力している。また、地域では日本青年会議所副会長やロータリークラブの活動にも積極的に参加し、多方面での貢献が認められ表彰を受けている。

「ツイストノート」(適合一冊)などの商品をFSC認証紙に切り替え、順次FSCマーク入り商品として販売している。

FSC認証紙は、適切に管理された森林から生産された木材や環境・社会的なリスクが低いとされた原材料等から作られており、環境保全に貢献しつつ、商品の信頼性も維持することが出来る。

リーフなどをFSC紙に切り替えて提供することで、顧客の社会貢献をサ

ポートし、持続可能な森林資源利用のため認証商品の拡大に努めていく。

FSC認証は、適切に管理された森林および責任ある資源利用を保証する国際的な認証制度。

認証番号「SGSHK-COC-350968」。認証範囲「FSCミックスクレジット」(FSC認証材とFSCが認めた適格な原材料を複数ミックスして使用している製品に付けられるラベル)。

FSCマーク入り

LIHIT LAB.

ツイストノートなどを販売



取得したCOC認証証

株式会社LIHIT LAB.(田中宏和社長、大阪市)は、2024年11月21日付でFSC森林認証の加工・流通過程の管理認証である「COC認証」を取得し、これに伴い今年4月より「オーブンリングノ

株式会社ホリタ(堀田敏史社長、福井市)は、5月2〜6日までの5日間、ホリタ文具倉庫で福井県初となる文具博「文具HORIBO」を開催した。

昨年4月に同店で実施したアンケートでは、約400人から回答を得たが、半数近くの人から文具を使ったワークショップや文具博のようなイベントに興味があるという声があり、また、福井県は地方という土地柄、文具博といった大きな文具イベントが未開催の地域で、都市部で開催されている大きなイベントへ行くには時間や費用のハードルが高く、アンケートでもホリタ文具でイベントの開催を望む声も多く寄せられていた。

封筒は企業の「顔」。
私たちは
企業の顔を大切にします。



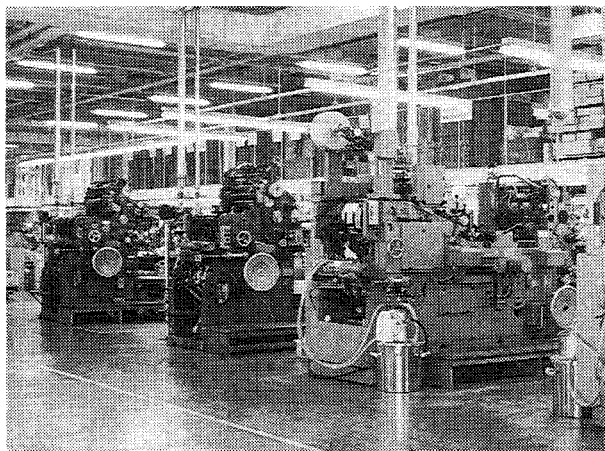
富士封筒

FUJIX フジックス株式会社

http://www.fujix-kk.com

本社/〒577-0066 東大阪市高井田本通2-7-18 TEL.(06) 6784-3900(代) FAX.(06) 6784-4100
東京営業所/〒140-0002 東京都品川区東品川1-25-3 TEL.(03) 5495-7521(代) FAX.(03) 5495-0622
名古屋営業所/〒460-0002 名古屋市中区丸の内1-7-6 TEL.(052) 209-5580(代) FAX.(052) 204-3200

充実した生産設備で



カラー封筒 ゼロ窓封筒



コーキ封筒株式会社

〒584-0023 大阪府富田林市若松町東3丁目7番8号
TEL 0721-25-7210(代表)
FAX 0721-25-9484

オリジナル工房

プロが仕上げるオリジナル!!
別製品・ノベルティはおまかせください。

ご希望の方にはカタログをさし上げます。



存在感のあるビジネスツールを提案します。



エコーマインド株式会社
本社/〒536-0023 大阪市城東区東中浜9丁目1-5 TEL.(06) 6962-6081(代) FAX.(06) 6968-0810
ホームページ http://www.echomind.co.jp